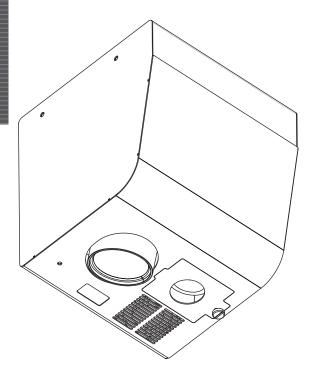
ELMO

シーリングプレゼンター

HV-C1000XG

取扱説明書



ご使用に先だち取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保存してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために 必ずお守りください

この「安全上のご注意」は、本機を安全に正しくお使いいただき、あなた や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守ってい ただきたい事項を示しています。

ご使用前によく読んで大切に保管してください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される 内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、 人が傷害を負う可能性が想定される内容および 物的損害のみの発生が想定される内容を示して います。

図記号の意味



名称:注意

意味:注意(しなければならないこと)を示すもので、具体

的な注意内容は近くに文章や絵で示します。



名称:禁止

意味:禁止(してはいけないこと)を示すもので、具体的な

禁止内容は近くに文章や絵で示します。



名称:風呂場・シャワー室での使用禁止

意味:製品を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感

電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に

具体的な禁止内容が描かれています。



名称:接触禁止

意味:接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもの

で、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



名称:分解禁止

意味:製品を分解することで感電などの傷害が起こる可能性

を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれて

います。



名称:強制

意味:強制(必ずすること)を示すもので、具体的な注意内

容は近くに文章や絵で示します。



名称:電源プラグをコンセントから抜け

意味:使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示す

るもので、図の中に具体的な指示内容が描かれていま

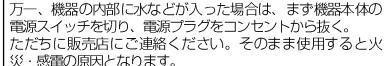
す。

♠ 警告

万一、煙が出ている、変なにおいや音などがするとき、すぐ に機器本体のスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜く。



異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 煙などが出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼く ださい。お客様による修理は危険ですから絶対おやめくださ い。





万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。 ただちに販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



(特にお子様のいるご使用環境ではご注意ください。)

万一、画面が映らないなどの故障の場合には、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。それから販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一、機器を落としたり、キャビネットなどを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。それから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

この機器のキャビネット、カバーは外さない。 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。





この機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



電源電圧(交流100V)で使用する。

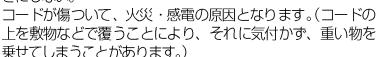
表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。



この機器に水や異物を入れたり、ぬらさない。 火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしない。





電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、 ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損して、火災・感電の原因となります。



風呂場、シャワ一室では使用しない。 火災・感電の原因となります。



電源プラグの刃や取付面にほこりが付着している場合は、 機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、 ほこりを取り除く。



電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。

雷が鳴り出したら本体、接続ケーブル、電源プラグなどには触れない。感電の原因となります。



ランプ交換する場合は電源スイッチを切り、ランプが十分冷えるのを待ち、電源プラグをコンセントから抜いて交換してください。 消灯直後にランプに触れると、火傷の原因となります。



ランプ交換する場合は、指定されたランプ以外は使用しないでください。指定外のランプを使用すると破裂・火災の原因となります。



/ 注意

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを コンセントから抜く。外部の接続コードを外したことを確認 の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因 となることがあります。



お手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いて、ランプや機器が熱くないことを確認してから行う。 感電・火傷の原因となることがあります。



この機器を長時間で使用にならないときは、安全のため必ず 電源プラグをコンセントから抜く。



火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。



キャスター付きの台に機器を設置する場合にはキャスター止めをする。



動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない。 火災・感電の原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かない。



火災・感電の原因となることがあります。

この機器に乗ったり、重いものを乗せない。特に、小さなお子様のいるご使用環境ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



電源コードを熱器具に近づけない。

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあ ります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したり、ほこりが付着して火 災の原因となることがあります。



また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグは根元まで差し込んでも、ゆるみがあるコンセン トに接続しない。



発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工 事店にコンセントの交換を依頼してください。



この機器は、本体を冷却する排気口があります。 排気口をふさがないように使用してください。 火災の原因となることがあります。



ランプ点灯中はランプをのぞいたり、顔を近づけないでください。 ランプ光で目に傷害を受ける原因となることがあります。



ランプ点灯中はランプおよびランプカバーに接触しないでください。 火傷する原因となることがあります。



屋外で使用しないでください。 感電・火災の原因となることがあります。



使用上のご注意

■本機は日本国内用に作られたものです。必ずAC100V、50Hzまたは 60Hzでお使いください。

電源の異なる外国ではご使用になれません。

■保管にあたっては直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。

変色、変形、故障の原因となることがあります。

- ■本機を設置する場合、強い磁気や電流が流れている場所は避けてください。映像の歪みの原因となり、CCDカメラにもダメージを与えます。
- ■湿気やほこりの多い場所、潮風の当たる場所、振動の多い場所には置か ないでください。

使用上の環境条件は次のとおりです。

温度:5℃~40℃ 湿度:30%~85%以下(結露しないこと)

- ■本機の掃除は、乾いたやわらかい布で拭いてください。 シンナーやベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。
- ■カメラレンズを直接太陽に向けないでください。撮像不能になることが あります。
- ■本機はランプを備えていますが、照明装置ではありません。 火災や事故の原因となりますので、照明を主体にした使用をしないでく ださい。
- ■乾電池についてのご注意
 - ・長時間使用しないときは、取り出してください。
 - ・充電式乾電池(Ni-Cd等)は使用しないでください。
 - ・新旧、異種の乾電池を混用しないでください。
 - ・充電したりショートさせたりしないでください。

もくじ	1. 各部の名称 ・・・・・・・・・ ▶ 1
1.各部の名称	1. 日即以日初
外観	2. ワイヤレスリモコン 2 について
2. ワイヤレスリモコンについて 受信範囲 14 準備 14	
3.マウスについて	3. マウスについて▶ 3
マウスの操作方法15	
4.設置 本体の設置 16 オートフォーカス動作範囲の設定について 16	4. 設置
モニター、プロジェクターとの接続 17 アナログRGB入力端子を持つ機器との接続 17 コンポジットビデオ入力端子を持つ機器との接続 17 Sビデオ入力端子を持つ機器との接続 17	5. 資料提示の 操作手順 5
5. 資料提示の操作手順	6. 各種機能と操作 ・・・・・ 6
印刷物などの資料を提示する場合の手順18	0. 口作成品CJ采F
6. 各種機能と操作	0. 口程成化CJ来下
6. 各種機能と操作 照明 19 ズーム 19 電子拡大 20	7. OSD ······ 7
6. 各種機能と操作 照明 19 ズーム 19 電子拡大 20 カラー/白黒切換 21 ポジ/ネガ反転 22 画像回転 22 フリーズ 23	
6. 各種機能と操作照明19ズーム19電子拡大20カラー/白黒切換21ポジ/ネガ反転22画像回転22フリーズ23コントラスト23クリアモード24アイリス24オートアイリス調整24フォーカス25	7. OSD
6. 各種機能と操作照明19ズーム19電子拡大20カラー/白黒切換21ポジ/ネガ反転22画像回転22フリーズ23コントラスト23クリアモード24アイリス24オートアイリス調整24	7. OSD
6. 各種機能と操作 照明 19 ズーム 19 電子拡大 20 カラー/白黒切換 21 ポジ/ネガ反転 22 画像回転 22 可以ーズ 23 コントラスト 23 コントラスト 23 イリアモード 24 アイリス 24 オートアイリス調整 24 フォーカス 25 オートフォーカス 25 電動マニュアルフォーカス 26 プリセット/ムーブ動作について 27 画像メモリ 28	7. OSD

1	∢ ···· 1.	各部の名称
2	√ ···· ² ·	ワイヤレスリモコン について
3	√ ···· 3.	マウスについて
4	↓ ···· 4.	設置
5	4 5.	資料提示の 操作手順
6	↓ ···· 6.	各種機能と操作

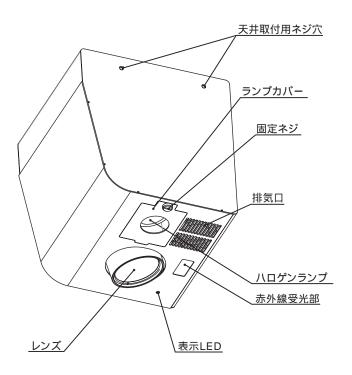
7 **√ ····** 7. OSD 8 8. RS-232C について **↓....** 9. ランプの交換 について 10 ◀ … 10. 故障かな? と思ったら

もくじ

8. RS-2320について	
セットアップの方法	33
接続ケーブルの結線方法	33
接続について	34
通信仕様	34
データフォーマット仕様	34
操作コマンド (パソコン→本機)	
応答データフォーマット(本機→パソコン)	35
UART通信フォーマット	36
0 ニンプの世紀について	
9. ランプの交換について	
ランプの交換について	38
10. 故障かな?と思ったら	
現象と確認	20
况家(唯祕	38
11. 仕様	
総合仕様·······	40
本体力メラ部仕様 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
照明装置	
付属品····································	
り	
111111111111111111111111111111111111111	1

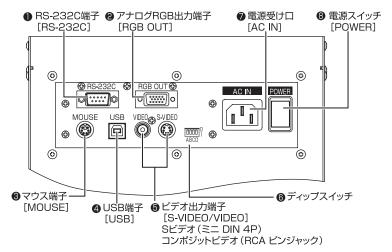
1 各部の名称

外観



11

コネクタパネル



	1		
	名称	働き	参照ページ
0	RS-232C端子 [RS-232C]	パソコンから本体を制御するときに、 RS-232Cケーブルを接続します。	P.33
2	アナログRGB出力端子 [RGB OUT]	液晶プロジェクターやマルチシンクモニ ターなどRGB入力機器へ、映像を出力 します。	P.17
3	マウス端子 [MOUSE]	付属のマウスを接続します。(1)	P.15
4	USB端子 [USB]	付属のUSBケーブルでパソコンと接続し、 付属のUtility Software CD-ROMの ソフトウェアで画像転送や 本体の制御を 行います。(1)	P.28
6	ビデオ出力端子 [S-VIDEO/VIDEO] Sビデオ(ミニDIN4P) コンポジットビデオ (RCAビンジャック)	TVモニターなどNTSC/PAL用モニターへ映像を出力します。	P.17
6	ディップスイッチ	次の通り切換えが行えます。 [A] キー: ビデオ出力方式の切換えを行います。 [B] キー: ビデオ出力方式の切換えを行います。 [C] キー: A F動作範囲の切換えを行います。 [C] キー: A F動作範囲の切換えを行います。 キー配列と機能	P.16 P.17

(※1)ケーブルの延長は、市販の延長用専用ケーブルをご利用ください。

	名称	働き	参照ページ
7	電源受け口 [AC IN]	電源コードコネクタ差し込み口です。	
8	電源スイッチ [POWER]	電源をON/OFFします。	

ワイヤレスリモコン



כ

a

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

	名称		働き	参照ページ
1	電源 [POWER]		電源をON/OFFします。	P.18
2	フリーズ [PAUSE]	映像の静止画/動画を切換えます。	P.23
3		2X	映像を2倍に電子拡大します。	P.20
4	電子拡大	矢印	電子拡大時、画面をスクロール(移動) します。ポインター表示中はポインターの 移動にも使用できます。	
5	メモリ番号	<u>2</u>	メモリ番号を示します。⑥~⑨と併用。	
6	/17 号に	プリセット [PRESET・SET]	機器の使用状態を保存します。メモリ番号と合わせて使用します。	P.27
7	状態	ムーブ [PRESET・CALL]	保存された使用状態を呼び出します。 メモリ番号と合わせて使用します。	
8	画像	画像・セット [IMAGE・SET]	映像を本体内メモリに記憶します。 メモリ番号と合わせて使用します。	P.28
9	四隊	画像・コール [IMAGE・CALL]	画像・セット[IMAGE・SET]で記憶した 映像を呼び出します。 メモリ番号と合わせて使用します。	
10	ポジ / ネガ	[POSI/NEGA]	ポジ/ネガを反転します。	P.22
11	カラー / 白黒	E[COLOR/B&W]	カラー / 白黒を切換えます。	P.21
12	コントラスト	[CONTRAST]	コントラスト強調をON/OFFします。	P.23
13	ランプ[L/	AMP]	照明をON/OFFします。	P.19
14	メニュー[MENU]		ポインター、OSDメニューをON/OFFし ます。ポインターが示すOSDメニューを 決定します。	P.29
15	画像回転[IM	AGE ROTATION]	映像を反時計回りに90 ずつ回転させます。	P.22
16	クリアモー	ド[F.A.M.]	映像のザラツキノイズを低減させるときに 使用します。	P.24
17	ズーム	望遠[TELE]	望遠側へズームします。	P.19
18	[ZOOM]	広角[WIDE]	広角側へズームします。	
19		N[NEAR]	ピントを手前側へ移動します。	P.26
20	フォーカス 「FOCUS 1	F[FAR]	ピントを遠方側へ移動します。	
21	[]	オートフォーカス[AF]	自動でピントを合わせます。	P.25
22	7 /!! 7	標準[NORMAL]	オートアイリスの絞りを初期値に戻します。	P.24
23	アイリス 「IRIS]	オープン[OPEN]	-プン[OPEN] オート / マニュアルアイリスの絞りを開きます。	
24		クローズ[CLOSE]	オート / マニュアルアイリスの絞りを閉じます。	

2 ワイヤレスリモコンについて

受信範囲



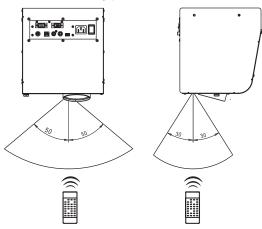
リモコンの赤外線発光部を本体の赤外線受光部に向けて希望の動作のボタンを押します。 太陽光やインバータ蛍光灯の近くなど、周囲の状況により受信可能範囲が短くなったり、 受信しないことがあります。

太陽光、インバー夕蛍光灯の光を遮るなどの対処をしてください。

・受信範囲

距離 : 赤外線受光部正面から約7m以内 角度 : 赤外線受光部から左右 約50°以内

前後約30°以内



準備

裏面の電池ケースカバーを、[\P OPEN] マーク部分を押し下げながら、矢印の方向に ずらして外します。

電池ケース内の表示の向きに従って、単4乾電池2個を入れます。



+-の極性は指示通り正しく入れてください。



乾電池の寿命は使用条件、種類により異なりますが、約1年で新しいものと交換してください。



付属の乾電池は動作確認用のものですので、有効使用期間は保証されません。

1

2

3

4

5

9

10

3 マウスについて

マウスの操作方法

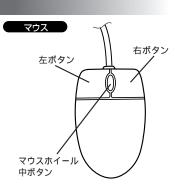
コネクタパネルのマウス端子[MOUSE]に接続します。

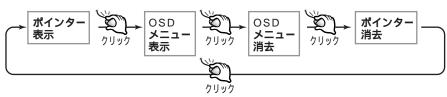
・左ボタンのクリック

OSDの操作を行います。

電子拡大あるいは画像回転 (90°, 270°) されて いないときは、ポインターとOSDメニューの表示・ 消去も行えます。

- ・左ボタンでのドラッグ(ボタンを押したまま移動) 電子拡大あるいは画像回転(90°, 270°)時、画面 をスクロールします。
- ・マウスホイールのクリック クリックするごとに、ポインターとOSDメニュー の表示・消去を行います。





- ・マウスホイールの回転 電子拡大あるいは画像回転(90°,270°)時、画面を上下スクロールします。
- 電子拡大あるいは画像回転(90°, 270°)時、画面を上下スクロールします ・右ボタンのクリック

ポインター表示中にクリックすると、ポインターが指している位置を中心として映像を電子拡大します。

ポインターが表示されていない場合は、映像の中心部を電子拡大します。

- OSDメニューをクリックすると、メニューの機能が優先されます。
- マウスを使用する場合は、本体の電源を投入する前に接続してください。
- 付属のマウスを使用してください。市販のマウスをご使用の場合、動作は保証されません。 ケーブルを延長される場合は、市販の延長用専用ケーブルをご利用いただくか、販売店にご相談 ください。
- OSDメニュー表示は、プロジェクターなどを使用して、大きな投映サイズでお使いになることを 前提に設計されております。手元のモニターおよびTVモニターなどでは、表示が見にくいことが あります。



15 ELMO

1

2

3

4

5

6

O

10

4 設置

本体の設置

天井への取り付けは、お買い上げの販売店か最寄りの弊社支店・営業所に依頼してください。詳細は同梱のHV-C1000XG取付説明書を参照してください。

電源コードを本機の電源受け口およびコンセントに接続します。

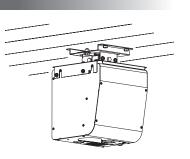
電源スイッチをONにします。

B)

本機を長時間使用しない場合は、電源スイッチをOFF または電源プラグをコンセントから抜いてください。



本体と資料面の距離は1.3m以上確保してください。 距離が遠くなってもフォーカスは合いますが、照明は暗くなります。3m以上の距離の場合は、別途照明をご用意ください。



オートフォーカス動作範囲の設定について

本機では、ディップスイッチによりオートフォーカスの動作範囲を設定することができます。 本機の設置条件に合わせた動作範囲に絞ることにより、オートフォーカスの所要時間が短縮できます。動作範囲の設定は下表の通りです。

AF動作範囲(設置距離)	[C]‡-	[D]‡-
全域(1.3m~)	0	0
1.3 m ~ 1.8 m	1	0
1.7 m ~ 2.8 m	0	1
2.7 m ~	1	1



工場出荷時は全域で設定されています。



ディップスイッチのキーを切換えるときは、必ず本機電源スイッチをOFFにしてください。

1

2

3

4

5

9

7

8

9

10

モニター、プロジェクターとの接続

本機では、ディップスイッチによって下記設定の切換えを行えます。接続する環境に合わせてで使用ください。出荷時の設定は下表の通りです。

		初期設定	
キー	機能	キー選択	内容
Α	ビデオ出力方式の切換え	0	NTSC
В	ビデオ出力の画面サイズの切換え	0	オーバースキャン

B.

本機および接続する周辺機器を保護するため接続するときは、必ずすべての機器の電源スイッチをOFFにしてください。

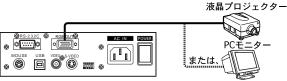
B

ディップスイッチのキーを切換えるときは、必ず本機電源スイッチをOFFにしてください。

■アナログRGB入力端子を持つ機器との接続

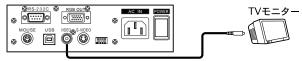
アナログRGB出力端子[RGB OUT]と、付属または市販のアナログRGBケーブルで接続します。このとき、表示の位置が中心からずれることがありますが、接続した機器側で水平、垂直位置をマニュアル調整してください。

液晶プロジェクターでは画面に縦縞が現れることがありますが、プロジェクター側のドットクロック周波数をマニュアル調整することで、軽減することができます。



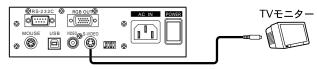
■コンポジットビデオ入力端子を持つ機器との接続

コンポジットビデオ出力端子[VIDEO](RCAピン)と付属または市販のRCAピンプラグ付き ビデオケーブルで接続します。



■Sビデオ入力端子を持つ機器との接続

Sビデオ出力端子[S-VIDEO](ミニDIN4P)と付属または市販のSビデオケーブルで接続します。使用する機器が、Y/C分離のコネクタになっている場合は、変換アダプターが必要となります。





接続ケーブルを抜き差しするときは、ケーブルのプラグを持ってください。

17 ELMO

3

4

5

6

7

8

9

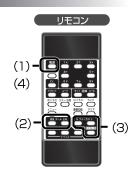
10

5 資料提示の操作手順

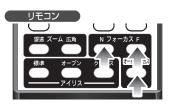
印刷物などの資料を提示する場合の手順

- (1) リモコンの **[電源] (POWER)** ボタンを押して、電源をONにします。(本体の表示LEDがオレンジ色から緑色に変化します。)
- **モニターとの接続は前もって行ってください。**
- 電源スイッチをOFFにした直後にONにした場合は、本機が作動しないことがあります。 再起動の場合は、数秒おいてから電源スイッチをONにしてください。
- 資料面が暗い場合は、**[ランブ] (LAMP)** ボタンを 押して照明を点灯してください。
- 電源をONした後、本機の初期設定のため、映像が 出力されるまでに約10秒ほど時間がかかります。
- (2) 資料面に被写体を置き、被写体の大きさに応じてモニター画面を見ながら、リモコンの(**望遠](ZOOM・TELE)、[広角](ZOOM・WIDE)**) ボタンで映像のサイズを調整します。
- (3) リモコンの [フォーカスN・F] (NEAR・FAR) ボタンを押してピントを合わせます。また、リモコンの[オートフォーカス] (AF) ボタンを押すことによってもピントを合わせることができます。
- (4) 操作が終了したら、リモコンの【電源】 (POWER) ボタンを押して、電源をOFFにします。

(本体の表示LEDが緑色からオレンジ色に変化します。)







1

2

3

4

5

7

8

9

10

6 各種機能と操作

1

照明

印刷物などの資料を提示するための照明が装備されています。リモコンの【ランプ】(LAMP) ボタンを押すと、照明が点灯します。再度【ランプ】(LAMP) ボタンを押すと、消灯できます。



照明は資料面の照度が不十分なとき、あるいは立体物を提示する場合にご使用いただきますと、演色性の良い鮮明な映像が得られます。



本体の照明だけでは不十分なときは、外部の照明を使用してください。





6

ズーム

7

リモコンの**【ズーム・望遠】(ZOOM・TELE)** ボタンを押すと、映像のサイズが徐々に大きくなり ます。

8

リモコンの**【ズーム・広角】(ZOOM・WIDE)** ボタンを押すと、映像のサイズが徐々に小さくなり ます。

9

また、ズームボタンを押しつづけることにより、 ズーム動作が速くなります。(倍速動作機能)





電子拡大

映像を2倍に拡大します。

リモコンの**[2×**]ボタンで映像の中央部が2倍に拡大されます。

リモコンの矢印ボタンによって拡大画面のスクロー ルができます。



電子拡大画面のときにOSDメニューを表示させていると、リモコンによる拡大画面のスクロールはできません。

●マウスによる操作方法

- ・左ボタン・・・・・左ボタンをドラッグ(ボタン を押しながら移動) すると、 画像が同じようにスクロー ルします。
- ・マウスホイール・・・拡大画面の上下スクロール に使用します。
- ・右ボタン・・・・電子拡大のON/OFFに使用 します。 電子拡大時はポインターが

電子拡大時はポインターが ※マークに変わります。



マウスポインター表示中に電子拡大を行った場合は、マウスの左ボタンはスクロール機能になっていますので、マウスポインターのON/OFFおよびOSDメニューON/OFFはできません。

マウスポインターおよび OSDメニューのON/OFFを 行うときは、電子拡大をOFFの状態で行ってください。 リモコン



リモコン

2x 6k 74 8v

Δ-7 tット 画像 コール



・マウス

P.15

·OSD

P.29

1

2

3

4

5

6

a

10

1

2

3

1

8

9

10

1

カラー/白黒切換

文書等の白黒原稿を見やすくするときに使用します。モニター上での色のにじみがない、より鮮明な映像が得られます。

リモコンの【**カラー/白黒】(COLOR/B&W)** ボタンを押すと、映像が切換わります。



フリーズが動作しているとき、カラー/白黒切換は機能しません。







ポジ/ネガ反転

ネガフィルムを提示するときに使用します。

リモコンの【ポジ/ネガ】(POSI/NEGA) ボタン を押すと、映像がポジ状態からネガ状態へ反転され ます。

再度 【ポジ/ネガ】(POSI/NEGA) ボタンを押す と、ボジ状態になります。



ネガ状態のときは、以下の制限があります。

- ・コントラス トON時: ガンマ調整ができません。
- ・ガンマ設定がy=07のときのみ、コントラスト をONにできます。



ネガ状態工場出荷時設定

- · ガンマ: γ=07 (0.3)
- · コントラスト: ON



フリーズが動作しているとき、ポジ/ネガ反転は機能しません。







·OSD



画像回転

リモコンの **画像回転] (IMAGE ROTATION)** ボタンを押すと映像が回転します。 **[画像回転] (IMAGE ROTATION)** ボタンを1回押すごとに、反時計回りに90°ずつ映像が回転します。



フリーズが動作しているとき、映像は回転しません。





参照

·OSD



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

6

フリーズ

リモコンの【フリーズ】(PAUSE) ボタンを押す と、本体カメラの映像が静止します。

再度【フリーズ】(PAUSE) ボタンを押すと、フ リーズが解除されます。



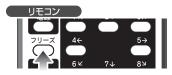
フリーズが動作しているとき、ポジ/ネガ反転、画像 回転、カラー/白黒切換、クリアモード、コントラス トは機能しません。



ズーム、フォーカス、アイリスについては動作しま すが、映像には反映されません。









·OSD



コントラスト

文章等の中間階調が少ない原稿を提示するときに使 用します。

文字や線と背景とのコントラストを強くして、文字 や線がはっきりした映像が得られます。

リモコンの [コントラスト] (CONTRAST) ボタ ンを押すと、コントラストが強くなります。

再度 [コントラスト] (CONTRAST) ボタンを押 すと、通常の状態になります。



ネガ状態時 ガンマ設定がy=07 (0.3) に設定さ れているときのみ、コントラストがONになります。



フリーズが動作しているとき、コントラストは機能 しません。







·OSD



クリアモード

映像のザラツキノイズを低減するときに使用します。動かない被写体を撮影する場合に適しています。 リモコンの【**クリアモード】(F.A.M.)** ボタンを押すと、クリアモードに切換わります。

再度**[クリアモード] (F.A.M.)** ボタンを押すと、 通常の状態に戻ります。

B

映像が回転しているとき、またはフリーズが動作しているとき、クリアモードは機能しません。





アイリス

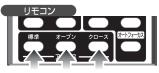
■オートアイリス調整

レンズの絞りを調整して、映像の明るさを被写体に合わせて自動追送する明るさの度合いを調整します。 リモコンの【アイリス・オープン】(IRIS OPEN) ボタンを押すと、アイリスが開きます。 リモコンの【アイリス・クローズ】(IRIS・CLOSE) ボタンを押すと、アイリスが閉じます。 リモコンの【アイリス・標準】(IRIS・NORMAL) ボタンを押すと、初期設定に戻ります。



マニュアルアイリスはRS-232Cにより動作可能です。









1

2

3

4

5

7

6

8

9

10

6

フォーカス

被写体のピントを調整します。

■オートフォーカス

リモコンの **【オートフォーカス】(AF)** ボタンを押 すと、自動でピントを合わせます。

本機はワンショットオートフォーカス方式です。 一度ピントが合うと、オートフォーカス動作は解除 されるので、そのときのピント位置を維持します。 (FOCUSFREE)



下記のような被写体は オートフォーカスではピン トが合わない場合があります。この場合は、マニュ アルフォーカスでピントを合わせてください。

- ・明暗の差(コントラスト)の少ない被写体
- ・横じま、格子模様など細かい繰り返しパターンの 被写体
- ・輝いていたり、強い光を反射して光っている被写体
- ・被写体の背景が明るいときや、明暗がはっきり しすぎているとき
- ・映像全体が暗いとき
- 被写体が遠くと近くに共にあるとき
- 動く被写体



被写体によっては、オートフォーカス動作時間が長 くかかることがあります。



オートフォーカス動作中にリモコンのマニュアル フォーカスボタン [フォーカス・N] (FOCUS・NEAR) または [フォーカス・F] (FOCUS・ FAR) を押すと、オートフォーカス動作は解除され ます。



オートフォーカス動作中にリモコンのズームボタン [ズーム・望遠] (ZOOM・TELE) または [ズー ム・広角] (ZOOM・WIDE) を押すと、オート フォーカス動作は中断されます。



オートフォーカス動作中に他の動作を行うと、 オートフォーカス動作が正常に終了しない場合があ ります。



ピントが合う範囲は、[ズーム・望遠] (ZOOM・ **TELE)** 最大側で本体から原稿(被写体)までの距離 が1.3m以上です。













■電動マニュアルフォーカス

立体資料などの任意の部分にピントを合わせるときに使用します。

リモコンのフォーカスボタン**「フォーカス・N] (FOCUS・NEAR)** または、**[フォーカス・F] (FOCUS・FAR)** を押します。



本機は詳細にピント調整をするためにフォーカスボタンを押すと、ゆっくり移動します。少しの調整のときは、フォーカスボタンを数回押してください。 大きく調整する場合は、フォーカスボタンを押し続けると、速く移動するようになります。



ピントが合う範囲は、**[ズーム・望遠](ZOOM・TELE)**最大側で本体から原稿(被写体)までの距離が1.3m以上です。

リモコン







·OSD



1

2

3

4

5

6

7

2

g

10

1

2

3

5

6

8

9

-1-

プリセット/ムーブ動作について

本機の使用状態をプリセット(保存)/ムーブ(読み出し)できます。(最大8つの状態を記憶) 記憶できる本機の使用状態は、以下の通りです。

- ・現在のズーム画角
- ・アイリスの状態
- ホワイトバランス状態
- ・アパーチャのON/OFF状態
- ガンマの状態
- ·照明状態
- ・カラー/白黒切換えの状態
- ・ポインターのON/OFF、色、形の状態
- ・画像回転の状態
- ・コントラストのON/OFF状態
- ・ポジ/ネガ反転の状態
- ・クリアモードの切換えの状態
- プリセット(保存)の方法
 リモコンの【プリセット】(PRESET・SET)
 ボタンを押して、「約4秒以内に」リモコンの
 メモリ番号ボタンを押すと、押した番号に現在
 の本機メモリの状態が記憶されます。
- プリセット(保存)された状態は、電源を切っても保持されます。
- ムーブ(読み出し)の方法 リモコンの【ムーブ】(PRESET・CALL) ボタンを押して、「約4秒以内に」リモコンの メモリ番号ボタンを押すと、押した番号のプリ セットの状態になります。







画像メモリ

本機のメモリ内に映像を保存することができます。 (最大8枚)

1. セット(保存)の方法 リモコンの**【画像・セット】(IMAGE・SET)** ボタンを押して、「約4秒以内に」リモコンのメ モリ番号ボタンを押すと、押した番号に映像が 保存されます。



リモコンの **「電源」(POWER)**ボタンを押して 電源をOFFすると、メモリ内に保存された映像 は消去されます。

 コール(読み出し)の方法 リモコンの 「画像・コール」(IMAGE・CALL) ボタンを押して、「約4秒以内に」リモコンのメ モリ番号ボタンを押すと、押した番号の映像が 読み出されます。



通常のカメラ映像に戻るには、**「画像・コール」 (IMA GE・CALL)** ボタンを押してから、「約4 秒以内」にもう一度、同ボタンを押します。



映像を読み出している番号への保存はできません。





「Utility Software CD-ROM」について

付属の「Utility Software CD-ROM」の中にはパソコンリンクソフト「Image Mate」とTWAINドライバー「ELMO TWAIN DS」が入っており、次の操作ができます。

- ・パソコンへの画像データ転送
- ・パソコンによる本機の操作

詳しくは「Utility Software」のインストール説明書とCD-ROMの中の「manual.pdf」を参照してください。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

7 OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ)

OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)とは、スクリーン上に表示される操作メニュー (以下OSDメニュー) を意味します。このOSDメニューはリモコン、マウスにより操作が 可能となります。

OSD操作

- リモコンの 【メニュー】 (MENU) ボタンを押すと、ポインターが表示されます。
- 2. もう一度 【メニュー】 (MENU) ボタンを押す と、OSDメニューが表示され、ポインターは OSDメニューの左下に移動します。 (ポインターの色は赤色になります。)
- 希望のアイコンにポインターを移動させます。 ポインターは、矢印ボタン(メモリ番号ボタン兼用)を押すことで移動できます。
- 4. ここで [メニュー] (MENU) ボタンを押すと、 アイコンが押され、動作が実行されます。
- 5. OSDメニューを終了するときは、下向き(上向き)の矢印ボタンを押し続けて、ポインターをOSDエリア外に出します。そして【メニュー】(MENU)ボタンを押すと、OSDメニューは消えます。もう一度【メニュー】(MENU)ボタンを押すと、ポインターも消えます。
- OSD表示中、リモコン操作時のポインターは、OSDメニュー内のアイコン上のみを移動します。(アイコンの色は赤色になっています。)また、サブメニューを表示した場合は、機能に関連したアイコン上のみを移動します。別のアイコンに移動したいときは、サブメニューを表示させたアイコン上で【メニュー】(MENU)ボタンを押して、サブメニューを閉じてから、ポインターを移動して

OSDメニューでポインターを変更した場合、以後 ポインターは設定したポインターとなります。



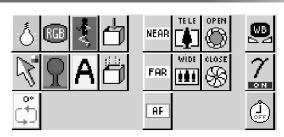


10

11

ください。

メインメニューについて



アイコン	名 称	機能	参照ページ
ð	ランプ	照明のON/OFFを切換えます。 電源投入時は、前回の保存内容に設定されています。	P.19
RGB	カラー / 白黒切換	映像のカラー / 白黒の設定を切換えます。 電源投入時は、前回の保存内容に設定されています。	P.21
9	ポジ/ネガ反転	映像のポジ/ネガ設定を切換 えます。 電源投入時は、前回の保存内 容に設定されています。	P.22
° (,†)	画像回転	映像を反時計回りに90 ずつ 回転させます。 電源投入時は、前回の保存内 容に設定されています。	P.22
***	フリーズ	静止画/動画の設定を切換 えます。 電源投入時の状態は動画で す。	P.23
Α	アパーチャ切換	映像のメリハリ(エッジ強調) を切換えます。電源投入時の 状態は、前回の保存内容に設 定されます。	
3	ポインター	映像上のポインターの色および 形を変更します。左クリックする ごとにアイコンのポインターが『白 矢印 青矢印 黄矢印 赤矢印』 『白ライン 青ライン 黄ライ ン 赤ライン』の順に変わります。	

Ī

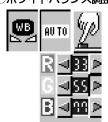
R

アイコン	名 称	機能	参照ページ
4	状態保存	電源投入時の使用状態を保存します。ポインターのON/OFFを除いて、プリセット/ムーブで記憶する項目と、同じ内容が保存されます。	P.27
	初期化	各機能の設定を工場出荷状態に戻します。	
NEAR FAR	フォーカス NEAR / FAR	フォーカス調整を行います。	P.26
AF	オートフォーカス	自動でピント合わせをします。	P.25
TELE WIDE	ズーム 望遠 / 広角	レンズのズーム調整 を行い ます。	P.119
CLOSE OPEN	アイリス 閉 / 開	レンズのアイリス調整を行います。 がオート/マニュアルの切換え はOSDではできません。	P.24

サブメニューについて

○ホワイトバランス調整メニュー ○ガンマ調整メニュー

○電源オフタイマー







アイコン	名 称	機能	参照ページ
WB	ホワイトバランス	ホワイトバランスの調整メニューを表示します。再度押すと、ホワイトバランスの調整メニューが消えます。	
AU TO	オート	自動追尾のホワイトバランス の設定になります。(初期設定)	
<u>(2)</u>	ワンプッシュ	ワンプッシュホワイトバランス の設定になります。ボタンを押 すと、そのときの色温度のホワ イトバランスに固定します。	
R ⊲ 33 > C ⊲ 55 > B ⊲ 11 >	マニュアル	ホワイトバランスを < RED > < GREEN > < BLUE > で設定することができます。ボリュームバー横の矢印ボタンを押して調整してください。 < RED >赤色成分の調整をします。(01~99) < GREEN >緑色成分の調整をします。(01~99) < BLUE >青色成分の調整をします。(01~99)	
7	ガンマ調整 (00~07)	ガンマ設定値 (00(1.0)/01(0.9)/ 02(0.8)/03(0.7)/ 04(0.6)/05(0.5)/ 06(0.4)/07(0.3)) を切換えます。 工場出荷時は04(0.6)に設 定されています。ネガ状態で コントラストONのときは調整 できません。	
	電源オフタイマー	本機を操作しなくなってから 電源をOFFするまでの時間を 設定します。 01 (1h) ~ 08 (8h) までの 時間が設定できます。 00のときは電源オフタイマー は動作しません。 電源をOFFすると表示LEDが オレンジ色に変わります。	

R

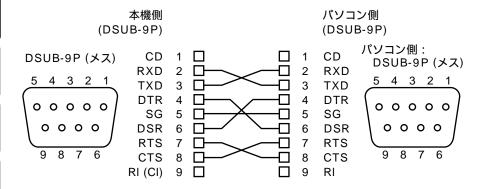
8 RS-232Cについて

RS-232C端子 [RS-232C] をパソコンに接続することにより、本機をパソコン側から制御することができます。

セットアップの方法

- (1) 本機とパソコン間をRS-232Cケーブルで接続してください。
- 市販のRS-232Cケーブルを使用する場合は、下記の結線になっているものをお使いください。
- 本機およびパソコンを保護するため接続するときは、必ずすべての機器の電源スイッチをOFFにしてください。
- (2) パソコンを起動してRS-232Cの通信方式を本機の通信方式と同じになるように設定してください。
- RS-232C通信方式の設定は、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- (3) パソコンより本機を動作させるプログラムを起動します。
- (4) RS-232C制御が開始します。
- 通信制御をするときは、必ず上記の順字でセットしてください。

接続ケーブルの結線方法



F

8

g

10

接続について

RS-232Cケーブルが本機とパソコンに正しく接続されていない場合には無応答になります。 RS-232Cケーブルは正しく接続し、コネクタ止めネジで確実に固定してから動作させて ください。

通信仕様

· 全二重調歩同期方式

・スタートビット : 1ビット ・データビット :8ビット ・ストップビット : 1ビット ・パリティビット : なし ・Xパラメータ :なし ・ボーレート(通信速度) : 9600bps

データフォーマット仕様

このコマンドは1コマンド/1パケットの形態で行います。1つの処理を行わない限り次の コマンドは受付けません。

- ・通信コマンドは必ずSTX (Start of Text) で始まり、ETX (End of Text) で終わりま す。
- ・通信フォーマットの形式やコマンド名が間違っていると、本機からNAK (異常受信: Negative Acknowledge) が送られ、正常応答しません。
- ・通信フォーマットが正しく送られると、本機からACK(正常受信:Acknowledge)が送 られます。

■操作コマンド(パソコン→本機)

各操作コマンドはすべてASCIIコードで行い、下記のように7バイトを1セットとして送信 します。

(パソコン)	S T X	コマンド	パラ メータ	データ	E T X
(本体)	А	CK	-		-

ELMO

34

1

2

3

4

5

8

9

44

■応答データフォーマット(本機→パソコン)

応答データはすべてASCIIコードにて送信し、操作コマンド一覧表のパラメータに対応しています。

・ステータス 0

S T X	ランプ ON/OFF	30H	ポジ / ネガ	カラー / 白黒	ポインター 表示	映像 拡大	フリーズ	ローカル ロックアウト	E T X
-------------	---------------	-----	------------	-------------	-------------	-------	------	----------------	-------------

・ステータス2

S T X	32H	切換	画像回転	アパーチャ	ホワイト バランス	コントラスト	30H	30H(通常) 31H(調整)	E T X	
-------------	-----	----	------	-------	--------------	--------	-----	--------------------	-------------	--

·ステータス7

S T X	クリア モード	アイリス モード	電源オフ時間	20H	20H	20H	20H	20H	E T X
-------------	------------	-------------	--------	-----	-----	-----	-----	-----	-------------

AUTO:31H MANUAL:32H

・ステータス8

S T X メモリ8 メモリ7 メモリ6 メモリ5 メモリ4 メモリ3 メモリ2	画像 メモリ1	E T X
--	------------	-------------

ď

画像がメモリされていないバイトは30H 画像がメモリされているバイトは31H 画像を読み出し中のバイトは32H

・ROMバージョン

S T X	V 56H	H 48H	K 4BH	20H	* * H	* * H	E T X
-------------	----------	----------	----------	-----	-------	-------	-------------

ROMバージョン1 ROMバージョン2

UART通信フォーマット

コマンド、パラメータ、データはすべてASCIIコードにて送信する。

動作	コマンド	パラメータ	データ	備考
オートフォーカス	AF	0		
フォーカス 調整	FO	+ (NEAR) - (FAR) 0 (STOP)		
ズーム調整	ZO	+ (TELE) - (WIDE) 0 (STOP)		
アイリス調整	IR	+ (OPEN) - (CLOSE) 0 (STOP) 1 (AUTO) 2 (MANUAL)		
ランプ	PL	0 (OFF) 1 (ON)		
ポジ / ネガ	NP	0 (POSI) 1 (NEGA)		
カラー / 白黒	СВ	0 (COLOR) 1 (B&W)		
ポインター表示	РО	0 (OFF) 1 (ON)		
拡大映像移動	PM	0(STOP) 1() 2() 3() 4() 5() 6() 7() 8()		・ポインターON時:ポインターの移動 ・映像拡大ON時:拡大映像の移動
映像拡大	MA	0 (OFF) 1 (ON)		
フリーズ	FZ	0 (OFF) 1 (ON)		
調整	GM	0 (=1.0) 1 (=0.9) 2 (=0.8) 3 (=0.7) 4 (=0.6) 5 (=0.5) 6 (=0.4) 7 (=0.3)		
画像回転	RO	0 (0 °) 1 (90 °) 2 (180 °) 3 (270 °)		
アパーチャ 切換	AP	0 (OFF) 1 (ON)		
ホワイト バランス切換	AW	0 (OFF) 1 (AUTO) 2 (ONE-PUSH)		

	動作	コマンド	パラメータ	データ	備考
1	クリアモード 切換	CL	0 (OFF) 1 (ON)		
	映像記憶	IS	1 2		
2 3 4 5			3 4 5 6 7		
3	映像読み出し	IC	1 2 3 4		
4			5 6 7 8		
5	映像切換	AV	0		・映像読み出し画面を解除して、カメラ映像に 切換えます。
	コントラスト	СТ	0 (OFF) 1 (ON)		
6	ローカルロック アウト	LL	0 (OFF) 1 (ON)		
	デフォルト	DF	0		
7	ステータス要求	QS	0 2 7 8		
	ROM バージョン	QR	0		
8	ACKチェック	SA	0 (OFF) 1 (ON)		
	CR付加	SC	0 (OFF) 1 (ON)		
9	電源オフ タイマー	PW	0 (O F F) 1 (1 時間) 2 (2 時間) 3 (3 時間) 4 (4 時間) 5 (5 時間) 6 (6 時間) 7 (7 時間) 8 (8 時間)		
11	電源	DN	0 (OFF) 1 (ON)		



データ中の「■■」の部分は、SPACE [20H] を2回送信してください。

9 ランプの交換について

ランプの交換について

本機に使用しているランブには寿命があり、長時間使用しますと映像が暗くなったり、ランブが切れて点灯しなくなったりすることがあります。(ランプの寿命は使用状態によって異なります。)

このようなときは、新しいランプと取り換えてください。

◆ 交換のしかた

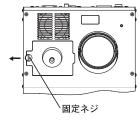


警告

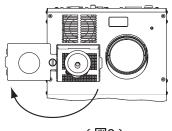
・交換は必ず フリップス製 JR12V50W AKM/5EZ-1を使用してください。



- ・使用直後のランプは高温になっていますので、触るとやけどの原因となります。十分に冷えてから(30分以上待ってから)ランプの交換をしてください。
- ・ランプ交換は高所作業になりますので、安全に注意して行って ください。
- 1. 電源スイッチをOFFにする。
- 2. 電源コードを抜く。
- 3. ランプが十分に冷えるのを待つ。
- 4. ランプカバーを外す。
 - → 固定ネジをゆるめ、ランプカバーを 矢印の方向にずらす。(図1) 固定ネジを基点にランプカバーを回転させる。(図2)
- 5. ランプを交換する。
 - → ランプを回して外し、新しいランプを 回して取り付ける。
- 6. ランプカバーを取り付ける。
 - → ランプカバーを外した手順と逆の手順で 取り付ける。



(図1)



(図2)

お願い

ランプはガラス製品ですので、ガラス面を素手で触ったり、強い衝撃を与えたり、傷つけたりしないでください。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

10 故障かな?と思ったら

10

現象と確認

以下のことをお確かめの上、異常があるときは、お買い上げの販売店か最寄りの弊社支 店・営業所までご相談ください。

現象	この点を確認してください
映像が出ない	 正しくケーブルが接続されていますか。 電源プラグが壁面コンセントから外れていませんか。 電源コードが本機の電源受け口から外れていませんか。 電源スイッチが入っていますか。 ズームが望遠になって映している資料の白い部分(または黒い部分)だけを見ていませんか。 電源スイッチをOFFにした直後にONした場合、機器が作動しないことがあります。電源OFF後、数秒おいて電源スイッチをONにしてください。
映像のピントが 合わない	 ・原稿(被写体)がレンズに近づきすぎ、本体から原稿(被写体)までの 距離が1.3m以下になっていませんか。 ・広角(ワイド側)でピントを合わせたのち、ズームを望遠側にして いませんか。ピントは望遠最大の所で合わせてください。 ・オートフォーカスの場合、ピントが合わせにくい場合があります。
映像が揺れる	 ・ ズームの望遠側または電子拡大で映像の揺れが大きい場合は、建物の振動が影響している場合があります。 リモコンの[フリーズ](PAUSE)ボタンを押して映像を静止することで映像の揺れをなくすことができます。
ビデオの出力映像 が乱れる	・ビデオ出力方式がPALに設定されていませんか。PALに設定された本機をNTSC専用のモニターと接続した場合、映像が乱れたり白黒映像になるなど、ビデオ映像が正常に出力されない場合があります。P.11「ディップスイッチ」を参照して、ビデオ出力方式を切換えてください。
映像が暗すぎる	 ・照明が不足していませんか。リモコンの[ランプ](LAMP)ボタンを押して照明を点灯してください。 ・本体から原稿(被写体)までの距離が長い場合は、資料面を外部照明にて明るくしてください。 ・アイリスがクローズ側に調整されていませんか。アイリスをオープン側に調整してください。
映像に縞模様が出る	 ・印刷物の網点とテレビの走査線またはCCDの画素の干渉縞ではありませんか。映る範囲を変えると軽減される場合があります。 ・液晶プロジェクターでは映像に縦縞が現れることがありますが、プロジェクター側のドットクロック周波数をマニュアル調整することで軽減することができます。(P.17参照)
輝度階調が合わない	・ガンマ設定の切換えを行うと軽減される場合があります。

11 仕様

■総合仕様

項目	内容					
電源	AC100-240V 50H	z/60Hz				
消費電力	100W					
外形寸法	幅226mm 奥行226	幅226mm 奥行226mm 高さ239mm				
質量	6.5kg (本体のみ)					
出力端子	RGB出力	DSUB 15Pコネクタ メス	× 1			
	コンポジットビデオ出力	RCAピンジャック / 75 不平衡 (NTSC / PAL)	× 1			
	Sビデオ出力	ミニDIN 4Pコネクタ/75 不平衡(NTSC/PAL)	× 1			
外部制御端子	RS-232C	DSUB 9Pコネクタ オス	× 1			
	マウス	ミニDIN 6Pコネクタ メス	× 1			
	USB	タイプB レセプタクル	× 1			

_

■本体カメラ部仕様

項目	内 容
撮影レンズ	f=14.2mm~170mm(12倍ズーム) F 2.6~2.7
撮像速度	20フレーム / 秒
撮像範囲	最大 横648mm 縦492mm
(撮影距離2m)	最小 横54mm 縦41mm
焦点調節可能範囲	本体から原稿(被写体)までの距離 1.3m~
ズーム	電動(倍速機能付)
フォーカス	自動 / マニュアル
アイリス	自動(レベル調節可能) / マニュアル (RS-232C)
撮像素子	1 / 3型 CCD
総画素数	水平1077 垂直788・・・・・約85万画素
有効画素数	水平1034 垂直779
同期方式	内部
解像度	アナログRGB出力 水平600TV本以上 垂直600TV本以上
	ビデオ出力 水平400TV本以上
アナログRGB出力	0.7V(p-p) 75 不平衛 同期信号 正極性
	信号周波数
	XGA 水平周波数48.363kHz 垂直周波数60.004Hz(1024×768@60Hz) VESA準拠
コンポジットビデオ出力	NTSC / PAL準拠
S映像出力	NTSC / PAL準拠
ホワイトバランス	フルオート / ワンプッシュ / マニュアル
ビデオ出力切換	可能(NTSC / PAL)
ポジ / ネガ反転	可能
カラー / 白黒切換	可能
画像回転	可能(0°/90°/180°/270°)
コントラスト	可能
ガンマ切換	可能(1.0/0.9/0.8/0.7/0.6/0.5/0.4/0.3)
アパーチャ切換	可能
フリーズ	可能
電子画像拡大	可能 (2倍、スクロール可能)
ポインター	制御可能(色選択可能)
クリアモード切換	可能

■照明装置

項目	内 容
ランプ	ハロゲンランプ 12V 50W
	(型名:フリップス製 JR12V50W AKM/5EZ-1)

■付属品

名 称	数量	
電源コード (2.5m)	1	
ビデオRCAケーブル (3m)	1	
ミニDIN 4P(Sビデオ用)ケーブル(2m)	1	
赤外線ワイヤレスリモコン(RCW-C1000)	1	
リモコン和文操作パネル		
単4形乾電池	2	
アナログRGBケーブル (DSUB 15Pコネクタ) (2m)	1	
アナログRGBケーブル(BNCコネクタ)(1.8m)		
取扱説明書		
取付説明書		
保証書	1	
スクロールマウス	1	
USBケーブル (1.8m)		
Utility Software CD-ROM		
Utility Software インストール説明書	1	

■別売オプション

- ・ハロゲンランプ (JR12V50W AKM/5EZ-1)
- ·天吊り金具 VB-1000



RCAピンはEIAJ RC-6703準拠のピンプラグを使用してください。



仕様は予告なしに変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

VESAは、Video Electronics Standards Association の登録商標です。 VGA, SVGA, XGA, SXGA は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。

ELMO、 **FMO** 、 VISUAL PRESENTER/ビジュアルプレゼンター、FOCUSFREEは、株式会社エルモ社の登録商標です。

1

2

3

4

5

6

7

2

9

10

ご注意

スライド・書籍・写真等は個人で楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で録画できませんので ご注意ください。

この装置は、商工業地域で使用されるべき情報装置です。住宅地、またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に、受信障害を与えることがあります。

補修用性能部品について

当社ではこの製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

EMO® 株式会社エルモ社

URL http://www.elmo.co.jp/

■製品のお問い合わせは、最寄りの弊社支店または営業所へ

本 社	∓467-8567	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎ (052) 811-5131
東京支店	〒108 - 0073	東京都港区三田3丁目7番16号	☎ (03) 3453-6471
	〒467 - 8567	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎ (052) 824-1571
大阪支店九州支店	〒540 - 0039	大阪市中央区東高麗橋2番4号	☎ (06) 6942-3221
	〒812 - 0039	福岡市博多区冷泉町2番8号朝日プラザ祇園2階	☎ (092) 281-4131
北海道営業所仙台営業所広島営業所	〒060-0004	札幌市中央区北4条西15丁目1番40号	☎ (011) 631-8636
	〒980-0021	仙台市青葉区中央4丁目10番14号エハセーフビル2階	☎ (022) 266-3255
	〒730-0041	広島市中区小町5番8号 ドルチェ2階	☎ (082) 248-4800

